

**福島復興本社における
賠償・環境再生・復興推進等に関する取り組み状況
～福島復興への責任を果たすために～**

○原子力損害賠償の進捗状況	1 ～ 2
○福島復興に向けた取り組み実績	3
○復興推進に関する取り組み	4 ～ 5
○流通促進に関する取り組み	6 ～ 8
○福島復興本社 新体制のご紹介	9

原子力損害賠償の進捗状況について

<原子力損害賠償のご請求・お支払い等実績>

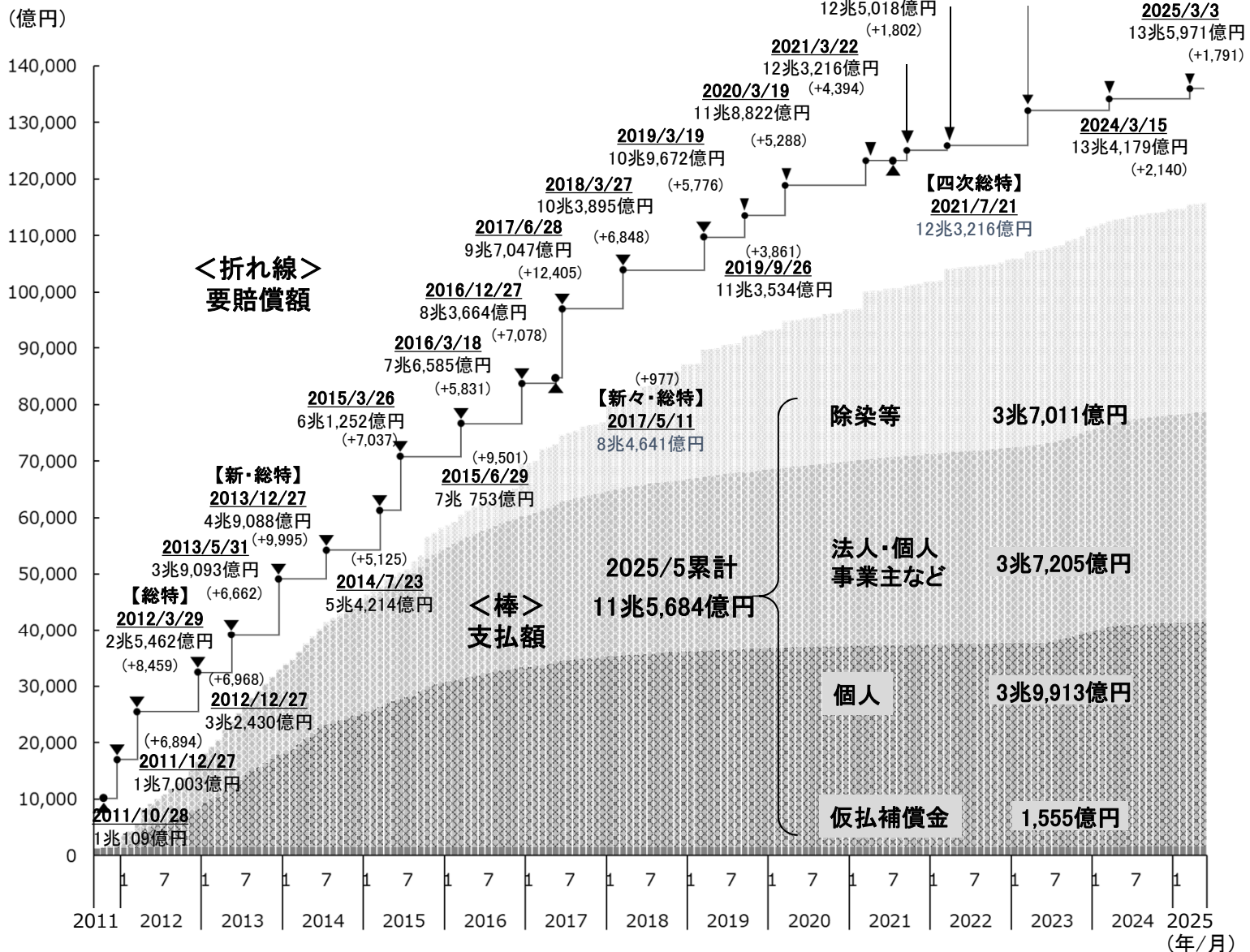
2025年5月30日現在

	個人※ ¹	法人・個人事業主など※ ³
ご請求について		
ご請求書受付件数(延べ件数)	約3,342,000件	約582,000件
本賠償の状況について		
本賠償の件数(延べ件数)	約3,119,000件	約497,000件
本賠償の金額※ ²	約3兆9,913億円	約7兆4,216億円
これまでのお支払い金額について		
本賠償の金額※ ²	約11兆4,129億円 ①	
仮払補償金	約1,555億円 ②	
お支払い総額	約11兆5,684億円 ①+②	

※1 個人の自主的避難等に係る損害を含んでおります。

※2 仮払補償金から本賠償に充当された金額は含んでおりません。

※3 除染等費用を含んでおります。



＜賠償項目別の合意金額の状況＞

	要賠償額<A> (2025年3月3日資金援助額変更申請)	賠償合意実績※ (2025年5月末現在)
I. 個人の方に係る項目	24,884億円	23,755億円
検査費用等	3,559億円	2,930億円
精神的損害	13,661億円	13,363億円
自主的避難等	4,912億円	4,721億円
就労不能損害	2,751億円	2,739億円
II. 法人・個人事業主の方に係る項目	36,123億円	34,548億円
営業損害	5,610億円	5,611億円
出荷制限指示等による損害及び風評被害	20,940億円	21,005億円
一括賠償（営業損害、風評被害等）	3,448億円	2,672億円
間接損害等その他	5,388億円	5,258億円
III. 共通・その他	22,729億円	20,355億円
財物価値の喪失又は減少等	15,653億円	15,060億円
住居確保損害	6,826億円	5,045億円
福島県民健康管理基金	250億円	250億円
IV. 除染等※2	52,233億円	37,011億円
合計	135,971億円	115,671億円

※1 振込手続き中の方も含まれるため、これまでのお支払金額とは一致しません。【B/A 85%】

※2 閣議決定及び放射性物質汚染対処特措法に基づくもの。

＜ご案内を開始している主な賠償項目＞

	個人	法人・個人事業主
2011年	8月:個人本賠償 〔・精神的損害 ・就労不能等に伴う損害 ・検査費用 ・避難、帰宅、一時立入費用 ・生命、身体的損害 等 〕	9月:法人本賠償 〔・営業損害 ・出荷制限指示等による損害 ・風評被害 ・間接損害 等 〕
2012年	2月:自動車に対する賠償 自主的避難等に係る損害に対する賠償 7月:建物の修復費用等に係る賠償	2月:自動車に対する賠償 12月:償却資産および棚卸資産の賠償
2013年	3月:宅地・建物・借地権等に係る賠償 、 家財の賠償 11月:田畑に係る賠償	3月:宅地・建物・借地権等に係る賠償 11月:田畑に係る賠償
2014年	1月:精神的損害(要介護者さま等への増額)に係る賠償 3月:移住を余儀なくされたことによる精神的損害に係る賠償 早期帰還に伴う追加的費用に係る賠償 避難指示解除後の相当期間に係る賠償 、 仏壇の賠償 4月:住居確保に係る費用の賠償 7月:墓石等の修理に係る賠償 9月:宅地・田畑以外の土地および立木に係る財物賠償 、 自主的除染に係る費用の賠償	9月:宅地・田畑以外の土地および立木に係る財物賠償 自主的除染に係る費用の賠償
2015年	2月:家財の個別賠償 3月:福島県の避難指示区域以外の地域における立木に係る財物賠償 4月:墓石等の移転に係る賠償 6月:避難指示解除準備区域・居住制限区域における精神的損害の追加賠償	3月:避難等対象区域内の農林漁業以外の事業者さまに対する仮払 福島県の避難指示区域以外の地域における立木に係る財物賠償 6月:新たな営業損害賠償等
2016年	2月:住居確保費用(持ち家)の賠償における賠償上限金額の見直し	12月:農林業者さまに対する2017年1月以降の営業損害賠償等
2017年	2月:住居確保費用(持ち家)の賠償における賠償上限金額の見直し	12月:平成30年以降の避難指示区域外の農林業における風評賠償
2018年	1月:移住を余儀なくされた区域における住居確保にかかる費用の賠償のお取り扱い 3月:2018年4月以降における個人さまの避難・帰宅等にかかる費用の賠償のお取り扱い	8月:2019年以降の避難指示区域外の農林業における風評被害
2019年	2月:住居確保費用(持ち家)の賠償における賠償上限金額の見直し 9月:消費税率引上げにともなう住居確保費用(持ち家)の賠償における賠償上限金額の見直し	
2022年		12月:ALPS処理水放出に伴い風評被害等が発生した場合の賠償
2023年	3月:中間指針第五次追補決定等を踏まえた精神的損害等に対する追加の賠償	
2024年	2月:住居確保費用(持ち家)の賠償における賠償上限金額の見直し	

＜ADRの対応状況＞

2025年5月30日現在		
申立件数		31,490件
解決件数		30,710件
	全部和解件数	24,368件
	取下げ件数	3,627件
	打切り件数	2,713件
現在進行中の件数	却下・和解の仲介をしない	2件
		780件

※申立件数のうち、当社に送達がなされているのは31,387件(5月30日現在)、月平均で約75件(2025年)

※現在進行中の件数のうち、42件は一部和解が成立している

※和解金額は約3.636億円

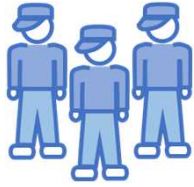
出典:原子力損害賠償紛争解決センターHPより

福島復興へ向けた取り組み①

福島復興へ向けた取り組み実績

■ 2025年5月までの実績

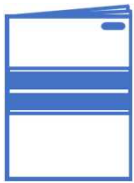
環境再生・復興推進活動



活動人数
1,200,835人
(前月比+3,368人)

復興本社設立（2013年1月）からの累計

原子力損害賠償



賠償お支払総額
約 11兆5,684億円
(前月比+65億円)

■ 2025年度の実績（4月～5月）

環境再生・復興推進活動



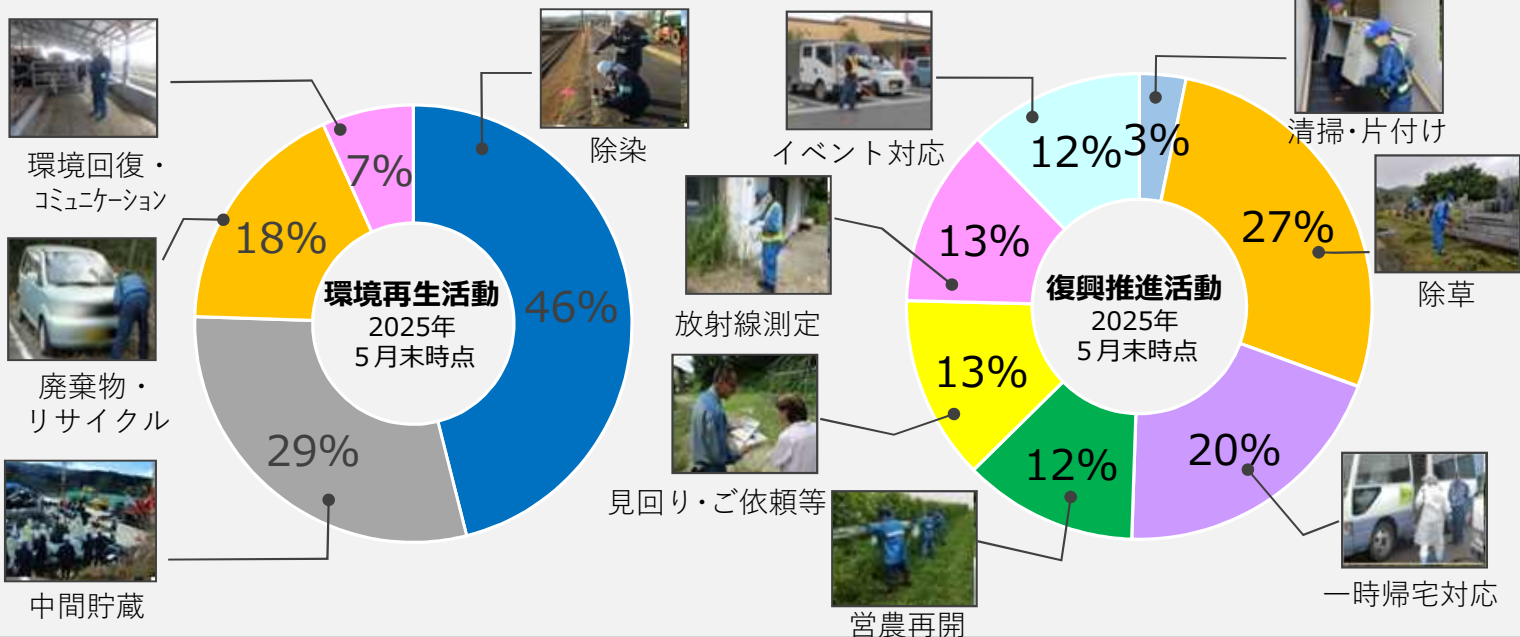
対応件数
884件
(前月比+364件)

流通促進活動



イベント開催数
51回
(前月比+29回)
出店店舗数
256店舗
(前月比+145店舗)

■ 環境再生・復興推進活動の業務別割合



■ 今後の主な活動予定

【凡例】【環】…環境再生活動 【復】…復興推進活動 【流】…流通促進活動 【他】…その他

【復】7月地域行事・イベントの協力

【流】7月の福島県産品販売会・イベントの主な開催予定

・福島県

- ①スーパーマーケットリオン・ドール66店舗様
- ②スーパーマーケットいちい12店舗様
- ③スーパーマート24店舗様

・首都圏ほか

- ④スーパーマーケットスズキヤ6店舗様
- ⑤ルミネ立川店様
- ⑥大丸松坂屋百貨店松坂屋静岡店様
- ⑦東急百貨店青葉台東急フードショー様
- ⑧ビーズ亀有店様

7月 4日(金)～7月 7日(月)
7月15日(火)～7月20日(日)
7月26日(土)～7月28日(月)

7月 2日(水)～7月 6日(日)
7月11日(金)～7月13日(日)
7月16日(水)～7月31日(木)
7月16日(水)～7月22日(火)
7月17日(木)～7月18日(金)

⑨東急百貨店渋谷東急フードショー様

⑩大丸松坂屋百貨店大丸東京店様

⑪東急百貨店4店舗様

⑫紀ノ国屋9店舗様

⑬横濱屋5店舗様

⑭クイーンズ伊勢丹15店舗様

⑮東武宇都宮百貨店宇都宮店様

7月17日(木)～7月20日(日)

7月23日(水)～7月29日(火)

7月24日(木)～7月30日(水)

7月25日(金)～7月29日(火)

7月25日(金)

7月30日(水)～8月 3日(日)

7月31日(木)～8月 3日(日)



キッチンカーの出店予定は
こちらから→



福島復興へ向けた取り組み②

地域イベントのお手伝い

取組内容

- 大熊町では「ゆめの森スポーツフェスティバル」が開催され、当社は会場設営や駐車場誘導のお手伝いのほかに、地域の皆さまと一緒に競技へ参加させていただきました。
- 浪江町では「大せとまつり」が開催され、当社は駐車場誘導のお手伝いを行いました。

■ 大熊町「ゆめの森スポーツフェスティバル」【 6月7日（土） 】

- ・ 大熊町立 学び舎ゆめの森よりお声がけをいただき、会場設営や駐車場誘導のお手伝いを行いました。
- ・ 当社社員も、地域の皆さまと一緒に競技にも参加させていただきました。



競技への参加



駐車場誘導

■ 浪江町「大せとまつり」【 6月7日（土）～8日（日） 】

- ・ 大堀相馬焼協同組合よりお声がけをいただき、駐車場誘導のお手伝いを行いました。



駐車場誘導



イベント会場

福島復興へ向けた取り組み③

各地域における環境美化活動のお手伝い

取組内容

- 各地域で環境美化活動が行われ、当社は事前準備や、地域の皆さまと一緒に町内の清掃や花植えを行いました。

■ 檜葉町・広野町「クリーンアップ作戦」【 6月1日（日） 】

- ・ 檜葉町、広野町よりお声がけをいただき、地域の皆さまと一緒に町内の清掃活動、花壇への花植えを行いました。



檜葉町 清掃活動



檜葉町 花植え



広野町 清掃活動

■ 富岡町・広野町「花いっぱい運動」【 6月3日（火）、 6月7日（土） 】

- ・ 富岡町観光協会、広野町振興公社よりお声がけをいただき、地域の皆さまと一緒に花植えを行いました。



富岡町 花植え



広野町 花植え



広野町 花植え準備作業

福島復興へ向けた取り組み④

福島県産品の流通促進の取り組み
～お米・牛肉・水産品などのイベント開催～



首都圏での福島県産品のPRイベント

ららぽーと豊洲における 夏のおいしいふくしまフェア2025



初開催

日程 2025年7月26日(土)～7月27日(日) 10:00～18:00

場所 東京都江東区 アーバンドック ららぽーと豊洲1
屋内: センターエントランスイベントスペース 屋外: メインステージ上

- 特色**
- 福島県産桃「あかつき」が旬となる時期に桃をメインとしたプロモーションイベントを実施することで、「福島の桃」の魅力を発信し、ブランド価値向上を図ります。
 - 屋内では、九州屋様による桃のブースのほか、日本橋ふくしま館様の桃を始めとした県産品の6次化商品や、かわうちワイン様のワインを販売するとともに、福島県の観光マップの展示やパンフレットを設置し、観光スポットをPRします。
 - 屋外では、果汁工房果琳様が桃をふんだんに使ったスムージーやゼリーを販売いたします。



写真はイメージです

桃の販売ブース



観光パネルの展示



キッチンカー

二子玉川エクセルホテル東急における 「発見! ふくしま」フェア



10回目の開催

日程 2025年7月1日(火)～7月31日(木) ランチ 11:30～14:00
ティー・ディナー 14:00～21:00

場所 東京都世田谷区 二子玉川エクセルホテル東急
30F 「The 30th Dining Bar」

- 特色**
- 7月17日に10周年を迎える二子玉川エクセルホテル東急様で「発見! ふくしま」フェアを開催し、麓山高原豚や常磐もののアンコウ・メヒカリ・タコなどを使用した「福島御膳」や、旬の桃のデザートをご提供いたします。
 - 同時に開催されている開業10周年を祝う特別プランにも常磐ものや、桃を使用して頂いているほか、2024年11月のフェア以降、ホテル内レストランで福島県産米「福、笑い」を継続的に取り扱いいただいています。



写真はイメージです

特設ページはこちら



福島御膳



アーモンドムースと福島県産桃のコンポート

福島復興へ向けた取り組み⑤

福島県産品の流通促進の取り組み
～お米・牛肉・水産品などのイベント開催～



西日本でのホタテ・福島県産品のPRイベント

マルキュウグループ50店舗におけるホタテ・桃フェア



2回目の開催

日程

2025年7月26日(土)～8月1日(金) 各店舗の営業時間による

場所

山口県内 マルキュウグループ50店舗
(アルク 37店舗、アトラス 1店舗、丸久 2店舗、サンマート 5店舗、中央フード 5店舗)

特色

- 山口県を中心に展開されている「マルキュウグループ」の50店舗で、福島県産の桃、キュウリ、トマトに加え、北海道・三陸産ホタテの販売イベントを開催します。
- 10店舗で桃とホタテの試食提供を実施し美味しさをPRするとともに、継続してお取り扱い頂けるよう、お客様、店舗担当者様へアンケートならびにヒアリングを実施します。



テレビCM

昨年のCMイメージ



アルク厚南店 (宇部市)

アルク葵店 (山口市)

2024年7-8月開催時の様子

マルキョウ43店舗におけるホタテ・桃フェア



3回目の開催

日程

2025年7月30日(水)～8月5日(火) 各店舗の営業時間による

場所

福岡県都市圏 43店舗
(福岡地区 41店舗、朝倉地区 2店舗)

特色

- 九州北部を中心に展開されている「マルキョウ」の43店舗で、福島県産の桃に加え、北海道・三陸産ホタテの販売イベントを開催します。
- 6店舗で桃とホタテの試食提供を実施し美味しさをPRするとともに、継続してお取り扱い頂けるよう、お客様、店舗担当者様へアンケートならびにヒアリングを実施します。



写真はイメージです

マルキョウ原田店 (筑紫野市)

マルキョウ高田店 (糸島市)

2024年7-8月開催時の様子

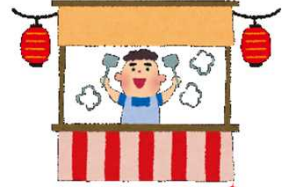
福島復興へ向けた取り組み⑥

福島県産品の流通促進の取り組み
～お米・牛肉・水産品などのイベント開催～



首都圏での福島県産品やホタテのPRイベント

第28回新橋こいち祭への出店



2回目の出店

日程 2025年7月24日(木)～7月25日(金) 15:00～20:30

場所 東京都港区新橋駅前西口SL広場

- 特色**
- JR新橋駅前SL広場等で開催される第28回「新橋こいち祭」に、昨年に引き続き今年も出店いたします。
 - 会場では、福島県産「常磐もの」のいか焼き他、福島牛串、ホタテクリーム春巻き、日本酒等を販売します。



福島牛串



いか焼き



福島の酒 3 種飲み比べ



写真はイメージです

2024年7月開催時の様子

福島県産品等 販路開拓の取り組み

国分東北株式会社「2025年秋冬 総合展示商談会」への出展支援

日程 2025年7月29日(火)

場所 宮城県仙台市 みやぎ産業交流センター(夢メッセみやぎ)

- 特色**
- 国分東北株式会社様ご協力のもと、福島県産の米焼酎やワイン、宮城県産の水産加工品等を出品し、商品サンプルや試食の提供を通じて商談を行います。
 - 会場には、バイヤーを中心とした1,000名を超える来場が予想され、当社からお声がけした事業者様のほか、多くの東北を中心とした事業者様が商品をPRいたします。
 - 本展示会は来場者の業態が多岐にわたり、ビジネスに直結した商談が可能であるため、国分グループ様ご協力のもと、他エリアの展示会への参加も検討・推進してまいります。



3回目の出展

○当社から出展のお声がけした事業者様(順不同)

- (初) (福島県) 合同会社 ねっか: 米焼酎ねっか
- (初) (福島県) かわうちワイン株式会社: 白ワイン、赤ワイン
- (初) (福島県) 株式会社海神: シマホッケ開き
- (初) (宮城県) 株式会社ヤマナカ: 牡蠣グラタン
- (初) (宮城県) 株式会社阿部長商店: 気仙沼チャウダー
- (初) (宮城県) 本田水産株式会社: 三陸産 生牡蠣フライ
- (初) (宮城県) 株式会社ハチヨウ: もずくキムチ
- (初) (宮城県) 末永海産株式会社: 三陸わかめの一本だし
- (初) (宮城県) 株式会社ナチュラルシー: 大とろ金華いわしフィール



2025年1月開催時の様子

福島復興へ向けた取り組み⑦

福島復興本社 新体制のご紹介

- 2025年7月1日より、福島復興本社の体制が新しくなりました。
- 「福島復興が当社存続の原点であること」「福島への責任を果たしていくこと」という使命を改めて胸に、福島復興のため心ひとつに、その責務を果たしてまいります。

※ ★が新任者

復興調整部：

国、自治体と連携した復興本社の施策立案、諸計画策定、地域の皆さまからのご要望への対応策の立案等を担います。



復興調整部長
鈴木 宏宗

福島原子力補償相談室：

賠償業務(円滑かつ早期の貫徹)を担います。



福島原子力補償相談室長
山崎 憲人

復興推進室：

ご帰還や地域復興を実現するための取り組みである復興推進業務を担います。



復興推進室長
石井 淳



福島復興本社代表
秋本 展秀

福島復興のため、新体制のもと、
全力を尽くしてまいります。

環境再生室：

国・自治体が実施する除染・中間貯蔵・廃棄物事業の推進、農林業再生、リスクコミュニケーション、再エネ施策等に関わる人的・技術的協力を担います。



環境再生室長
白井 真

ふくしま流通促進室：

福島県産品の販路開拓・購入促進に向けた取り組み等を担います。



ふくしま流通促進室長
四ツ柳 尚子

福島広報部：

福島第一原子力発電所および福島第二原子力発電所の廃炉や、賠償・環境再生・復興推進等の取り組みの広報業務を担います。



福島広報部長
竹山 学★